

なつしずく

品種名称：なつしずく	木原武士 西端豊英 栗原昭夫
登録番号：(出願番号第 18647 号)	平林利郎 佐藤明彦 樫村芳記
登録年月日：(出願公表平成 18 年 3 月 7 日)	小園照雄 福田博之 内田 誠
登録者：(独)農業・食品産業技術総合研究機構 (茨城県つくば市観音台三丁目 1 番地 1)	来歴：「平塚 25 号」(幸水×菊水)と「筑水」の交雑実生
育成者：壽 和夫 齋藤寿広 阿部和幸 澤村 豊 佐藤義彦 寺井理治 正田守幸 鈴木勝征 高田教臣	育成地：(独)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 (茨城県つくば市藤本 2 番 1)

特 性

■栽培特性

樹勢はやや強く、短果枝の着生、えき花芽の着生はともに中である。開花期は「幸水」と同時期で遅い。「幸水」、「豊水」、「長十郎」、「ゴールド二十世紀」などの主要品種とは交雑和合性があるが、「筑水」とは不和合性を示す。育成地における収穫期は 8 月 14 日頃で、「八里」より 4 日遅く、「幸水」より 8 日程度早い。結実性は良好であるが、自家結実性は低い。初期収量は「幸水」に劣るが「八里」より優れる。収穫後期に落果がみられることがあるため、収穫遅れの無いように留意する必要がある。

■果実特性

果実の形は扁円で、有てい果はほとんど見られない。果皮が黄緑色の青ナシで小さな果点が密に分布する。果面は滑らかでサビの発生は少ない。果肉は白色で軟らかくち密である。果汁の糖度は屈折計示度で約 11.8%と「幸水」と同程度であり、果汁の酸味においても pH は約 5.3 と、「幸水」と同程度で「八里」より弱い。渋味は無く、果汁の量は多く、糖度、酸味とも「幸水」と同程度で食味は良好である。みつ症、裂果の発生は少なく、心腐れも認められない。果実の大きさは「幸水」と同程度である。果実の揃いは良く、日持ち性は 5~10 日間で「幸水」と同等、「八里」にはやや劣る。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

黒斑病には抵抗性であり、黒星病などの主要病害に対しては通常の防除で問題は認められておらず、特に問題となる虫害も見られない。果面のサビの発生は少なく、黒斑病抵抗性のため袋かけの面での省力化が期待できる。

枝の発生密度、花芽の着生程度とも概ね「中」と評価され、花芽の維持確保は可能であると考えられるが、試作の結果、短果枝の着生、腋花芽の着生に関して「少」あるいは「やや少」と評価する場所もあることから、適正な樹相に管理し、花芽の維持確保に努める必要がある。また、みつ症の発生は少ない品種であるが、「豊水」のみつ症の多発した年度においてみつ症の発生を「多」とした地域があることから、みつ症の多発地域、みつ症の多発する年度には注意が必要である。

■地域適応性

青森県、秋田県、山形県といった東北 3 県では、やや小玉の傾向がみられる。しかし、宮城県、福島県では 300g を超えることから、関東以北においても「幸水」並の果実重を得ることが可能であるとみられる。果肉硬度、果汁糖度、果汁酸度に関しては、ほぼすべての地域で「幸水」並の品質を得られることから、我が国のニホンナシ産地の全域で栽培可能と考えられる。
(澤村 豊)